

[目次]

2017年7月号

特集

中部支部天文教育研究集会 in しらびそ高原

中部支部天文教育研究集会 in しらびそ高原 (吉住千亜紀) 2/「長野県は宇宙県」の紹介 (大西浩次) 5/Web カメラ定点観測システム開発状況報告 (伊藤信成) 11/小学校キャンプでの観望会の実施 (萩原拓也ほか) 13/幼稚園での星見の会の実施 (加藤明音ほか) 14/熊野市の夜空の明るさ調査 (越村真帆ほか) 15/銀河天文台クラブの活動紹介 (三戸洋之) 17/飯田市美術博物館の天文教育普及活動 (吉住千亜紀) 19/木曽地域での「木曽星の会」の取り組み (清水 醇) 21/人工衛星電波受信実験の教育利用 (内山秀樹ほか) 23/人工衛星電波受信実験のための Arduino と Processing を使った方位・仰角計の製作 (増田光希・内山秀樹) 26/ドレイクの方程式の推定値からみる大学生の宇宙観 (原田裕貴・内山秀樹) 28/天文手話の話 (嶺重 慎) 30/日食にあたり二つのアプローチ (船越浩海) 32/ワークショップ報告～企画A: 星空や星雲星団を撮影してみる～ (北川和美) 35/ワークショップ報告～企画B: 星景写真をより一歩進めてみる～ (武井咲予) 36/ワークショップ報告～企画C: GIGASTAR mini 製作体験～ (稲葉雅世) 37/御池山隕石クレーター見学会 (大西浩次) 38

特別記事

法人化準備委員会より (IV)
～2017 年度総会提案「定款 (案)」等とその説明～ 縣 秀彦 ほか 42

投稿

世界天文コミュニケーション会議 2018 in 福岡に参加しよう 矢治健太郎 64

連載

社会教育施設について考える
地域博物館における天文教育 鳳 宏道、
生涯学習施設支援WG 69

報告

宇宙を観じる生活を! (37) ～黄華堂ブログより～ 黄華堂 73

関東支部会 (2017 年 7 月 2 日) の開催報告 亀谷和久 75

情報コーナー

2017 年度役員の選挙結果と決定した新役員の報告 選挙管理委員会 78

2017 年天文教育普及研究会年会のお知らせ (第三報) 西村昌能 80

会合やイベント 編集委員会 87

最近出版された天文関連書 編集委員会 90

事務局からのお知らせ 事務局 91

編集部より

今号は、中部支部天文教育研究集会についての詳細な報告が寄せられています。様々な研究発表と、晴天に恵まれての天体観測、撮影会など、原稿を読んでいると五感で天文と星空を楽しみ切った様子がよく伝わってきます。

しかし、いま日本の多くの地域は梅雨に入り、なかなか星が見られません。梅雨が明けると、ペルセ群を代表とする流星群の数々、伝統的七夕、スターウィークなど天文関係のイベントが目白押しです。さらに、皆既日食まで控えています。

梅雨明けが楽しみです。

そして、8 月には年会が京都で開催されます。世界の一大観光都市となった京都で、年会が滞りなく行えるよう実行委員会の方々が尽力されています。総会では本会の法人化に向けての議論が行われます。今号の特別記事には 5 月号からの変更点がまとめてあります。総会に向けてぜひお読みいただきたいと思います。

それでは、夏の京都でお会いしましょう。

2017 年 7 月 編集委員長 松本直記